

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立西一之江小学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	55.0%	50.0%
令和 7 年度の目標	50.0%	50.0%
令和 6 年度の結果	52.8%	38.9%
令和 5 年度の結果	48.1%	39.8%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	44.3%	46.6%
第 5 学年	50.0%	55.5%
第 4 学年	48.6%	44.0%
第 3 学年	40.4%	34.8%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	板書の書き方 ・「めあて」「まとめ」など、児童の思考の流れに沿った板書計画を立て指導と評価の一体化を図る。 校内研修 ・国語科「読むこと」の研究授業を実施し、言葉を吟味、分析する活動を通して、言語感覚を養う。 ミライシード研修 ・教員の活用の仕方に即した研修を実施し授業に活かせるようにする。	ノートの統一 ・板書とリンクさせることで、分かりやすくまとめられるようにする。日付等を記入させ、学習の振り返りができるようにする。 一人 1 台端末・ミライシード ・「ドリルパーク」を活用し学習の振り返りをさせる。「オクリンク」や「ムーブノート」を活用し図やグラフ、映像や写真資料の共有化を図り話し合い活動を活性化させる。	西一之江小 5 つのやくそく ・呼名の返事や授業中のルールを徹底させる。 SNS 西一之江ルール ・一人 1 台端末を家庭で使用するため、家庭ルールの作成をお願いする。 家庭学習 ・毎日宿題を出し、学年×10 分の家庭学習を推奨する。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	特別支援教育の充実 日頃の児童観察を心がけ、適切な指導方法について、模索する。また、特別支援委員会で情報を共有し、適切な支援方法について検討する。	個別対応の保障 場合により、個に応じた教材を用意する。ミライシードを活用し、対象児童に合った問題を提示する。 放課後補習教室の活用 都度、入室、退室の判断を検討する。	家庭との連携 持ち物がそろっていないことで集中できない児童において、連絡帳での持ち物チェックだけでなく、教材、教具や宿題の忘れ物がないよう家庭との連絡を密にする。場合により、Teams や tetoru を活用し連絡する。
成果指標	○全国学力調査児童質問紙 「国語の勉強は好きだ」の肯定的回答割合 65% 以上 「国語の勉強は大切だ」の肯定的回答割合 90% 以上 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思う」肯定的回答割合 80% 以上	○全国学力調査児童質問紙 「国語の授業内容はよくわかる」「算数の授業内容はよくわかる」の肯定的回答割合 85% 以上 ○CD 層 55% 以下	○西一之江 5 つのやくそく 「名前を呼ばれたら「はい」という。」の回答割合 90% 以上 「みんなが集まったら、おしゃべりをしない」の回答割合 80% 以上 ○全国学力調査児童質問紙 「学校の授業時間以外の勉強時間 1 時間以上」の回答割合 70% 以上